

千葉大学医学部附属病院で腎移植を施行した患者およびドナー患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月26日

食道・胃腸外科

食道・胃腸外科では、腎移植関連患者における診療実態、周術期管理および予後に関する観察研究に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2018年1月1日から2025年3月24日までに千葉大学医学部附属病院で腎移植を受けた方、又は腎臓の提供をされた方

1. 研究課題名

「腎移植関連患者における診療実態、周術期管理および予後に関する観察研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究では、腎移植を受けた方や腎臓を提供された方の、年齢、もとの病気、手術の内容、治療後の経過、合併症、検査結果などを振り返って調べます。これにより、当院における腎移植医療の実際の状況を明らかにし、今後の診療をより安全で質の高いものにすることを目指します。

研究にあたっては、診療録（カルテ）や検査記録など、すでに病院に保存されている情報を用います。この研究のために新たな検査や治療をお願いすることはありません。

お名前など、個人がわかる情報は取り除いたうえで、研究用の番号をつけて集計し、統計学的に解析します。本研究で得られた情報を千葉大学以外の機関へ提供する予定はなく、外国へ提供することはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録（カルテ）に記載されている情報を用います。具体的には、年齢、性別、もとの病気、透析の期間、これまでの病気、ドナーに関する情報、手術の内容、血液検査・尿検査の結果、画像検査の結果、病理検査の結果、使用した免疫を抑える薬、拒絶反応や感染症の有無、手術後の合併症、移植した腎臓の働き、その後の経過などです。

腎臓を提供された方については、背景情報、手術記録、手術後の経過などを研究に用います。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

本研究は千葉大学医学部附属病院単独で実施します。

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：食道・胃腸外科 講師 丸山 通広

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院食道・胃腸外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

ただし、すでに解析が終わっている場合や、すでに研究結果が公表されている場合には、対応できないことがあります。情報の利用を希望されない場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

食道・胃腸外科 特任助教 木下和也

043（222）7171 内線5294